

## 令和2年度臨時大分市総合教育会議 議事録

1. 日 時 令和2年4月3日(金) 13:30~14:30
2. 場 所 本庁舎8階大会議室
3. 出席者

○総合教育会議構成員

大分市長	佐藤 樹一郎
大分市教育委員会教育長	三浦 享二
大分市教育委員会委員	古城 和敬
大分市教育委員会委員	上杉 美穂子
大分市教育委員会委員	生野 誉士
大分市教育委員会委員	古城 一
大分市教育委員会委員	岡野 涼子

○大分市副市長

久渡 晃

○大分市連合医師会副会長

澤口 博人

○事務局

企画部長	江藤 郁	教育部長	佐藤 雅昭
総務部長	佐藤 耕三	教育部教育監	高橋 芳江
福祉保健部長	斉藤 修造	教育部審議監兼文化財課長	坪根 伸也
子どもすこやか部長	藤田 恵子	教育部次長	桑野 徹
企画部審議監	伊藤 英樹	教育部次長兼社会教育課長	村上 雄二
企画部審議監	広瀬 正具	大分市美術館副館長兼美術振興課長	長田 弘通
企画部審議監兼スポーツ振興課長	三好 正昭	教育総務課長	高田 隆秀
総務部審議監兼防災局長	渡邊 信司	学校教育課長	野田 秀一
企画部次長	高橋 賢次	学校施設課長	新納 健二
企画部次長兼企画課長	小野 晃正	体育保健課長	清水 篤
企画部次長兼文化振興課長	上原 徹夫	人権・同和教育課長	河野 正行
大分市保健所次長	後藤 礼次郎	教育センター所長	佐藤 義仁
大分市保健所次長	宮下 裕二	教育総務課参事	梶取 隆之
大分市保健所次長兼保健予防課長	沖田 光宏	教育総務課参事補	黒木 眞由美
障害福祉課長	永田 浩貴	教育総務課指導主事	三嶋 みどり
保育・幼児教育課長	井上 たかし	教育総務課主任	園田 哲也
子育て支援課長	横川 幸一		
企画課参事補	足立 威士		
企画課主査	生野 宏樹		
企画課主査	高橋 和志		

4. 次 第 (1) 開 会

(2) 議 事

【報告事項】

①新型コロナウイルス感染症発生に係るこれまでの大分市の対応について

【協議事項】

①市立小中学校等の再開について

②市有施設について

③その他

(3) 閉 会

開会 企画部長	<p>皆さん、こんにちは。定刻となりましたので、ただいまから、令和2年度臨時大分市総合教育会議 兼 第9回大分市新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開会いたします。</p> <p>会議の進行を務めさせていただきます、企画部長の江藤でございます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>委員の皆様方におかれましては、緊急の開催に関わらず、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>また、本日の会議では、新型コロナウイルス感染症発生に係るこれまでの大分市の対応についてご報告するとともに、市立小学校等の再開などについてご協議いただくことになっておりますことから、有識者として、大分市連合医師会 副会長の澤口博人先生にご出席いただいております。</p> <p>どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>さて、議事に入ります前に4月1日に古城和敬委員が再任されるとともに、岡野涼子さまが新たに教育委員に就任されましたので、お二人から、ご挨拶をいただきたいと思っております。</p> <p>はしめに、古城和敬委員、よろしくお願いいたします。</p>
古城（和）委員	<p>皆さん、こんにちは。古城でございます。4月1日に佐藤市長から2期目の辞令を頂戴しました。心を引き締めて、また、職務に励みたいと思っております。どうぞご支援よろしくお願いいたします。</p>
企画部長	<p>ありがとうございました。</p> <p>つづきまして、岡野涼子さん、よろしくお願いいたします。</p>
岡野委員	<p>皆さん、こんにちは。この4月1日に新たに教育委員を拝命いたしました岡野と申します。少しでもお役に立てますよう努力いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>

<p>企画部長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、議事に入らせていただきます。議事の進行は、本会議の議長であります佐藤市長にお願いいたします。</p>
<p>市長</p>	<p>はい、それでは始めさせていただきます。</p> <p>まず、はじめに本日ご出席いただいております澤口先生から現在の状況につきましてご発言をいただきたいと思っております。先生、よろしくお願いたします。</p>
<p>澤口先生</p>	<p>はい、皆さん、こんにちは。澤口でございます。</p> <p>私の勤務地は大分市横田でございます。ご存じの通り大在の大分医療センターでクラスターと言われる状況が起こりまして、聞くところによると、医療センター関連の感染者は24人で終息いたしました。</p> <p>現在、東京の病院、あるいは、北九州市の病院がクラスターとなっており、もう東京は100人を超えたという状況です。医療センターのクラスターといわれた状況が、なぜ24人で済んだかということですが、私が院長、副院長から聞いている限りインフルエンザ対策、いわゆるそういう消毒を徹底していたということで、結局、たまたま感染した患者に絡んだ方だけが発症したというのが私の理解であり、私としては非常に上手に対応できたのではないかと、少なくとも、次の患者に繋がらなかったことで、24人で済んだということは評価できるんじゃないかと思っております。</p> <p>そして、今の26例目以降のコロナ感染に関しては、全く医療クラスターとは関係ないところ、大阪から帰ってきた10代の方、それから、フィリピンから帰ってきた方、東京から帰ってきた方ということで、いわゆる、繋がって患者が出ている状況ではないと思っており、その点では、大分の場合は、今のところそんなには厳しい状況になっていないと思っております。</p> <p>それで、皆さんにご覧いただきたいのは、この1枚のグラフでございます。私が、定点観測を行い、1週間にどれぐらいの患者が来たかデータで、グラフに示しています。これでピンと来る方は非常に勘の鋭い方です。2009年なんですね。2009年何があったかご存知の方いらっしゃると思うのですが、新型インフルエンザです。新型インフルエンザで、大阪で発症して、大分県には日田から入って大分市でも感染者が出ました。このグラフをよく見ると、ブルーのラインが一気に立ち上がっているのがあります。ご覧いただいてわかるように10月中旬何が起こったかということ、運動会がありました。3密で一番やってはいけないことを行ってしま</p>

	<p>い、その後、大発生を起こしました。要は、これは一つの試金石と僕が思っていて、ここから先は、何も起こっていないからいいのではなく、いかに正しく恐れて、正しく対応出来るかが大事であると思っております。後で、ご協議いただけたらと思うのですが、ここから先は子ども達とにかく安全に登校して安全に管理をする中で、何か起こったところでそれを恐れることなく、順序良く対処できれば難しいことは起こらないということをおっしゃっています。まずは、そういった3密の問題であったりとか、不特定多数の人が集まるような状況を避けるということをおっしゃりたいです。先ほどお話ししました私の地元も基本的には総会を中止したり、あるいは、5月に予定していた地区の運動会を中止するなど、地区対応をしっかりとやっているところですので、みんなで勉強していただきながら、前向きに取り組んでいけばありがたいです。以上でございます。</p>
<p>市長</p>	<p>澤口先生、ありがとうございます。それでは、後ほど、ご質問を受けていただくとして、事務局からの報告に入りたいと思います。</p> <p>「報告事項」としまして、「新型コロナウイルス感染症に係るこれまでの大分市の対応」について、事務局から報告をお願いします。</p>
<p>保健予防課長</p>	<p>保健予防課長の沖田でございます。よろしく申し上げます。</p> <p>資料は1-1をご覧ください。</p> <p>新型コロナウイルス感染症発生に係るこれまでの大分市の対応についてということで、記載をさせていただいております。</p> <p>「1」の感染症の発生状況についてであります。いま、澤口先生からご説明いただきましたけども、3月2日にこの臨時大分市総合教育会議を行った翌日に大分県内1例目、大分市内としても1例目の患者が発生しております。</p> <p>これが、ラウンジで発生した事例ということで、それ以降昨日までに大分県内に30件新型コロナウイルス感染症が発生しておりまして、資料の網かけをしている部分は、大分市以外で発生した部分になっておりまして、それが5件、ということでトータルとして大分市内では25件発生が出ているという状況になっております。</p> <p>先ほど言いましたが、1例目がラウンジの分、2例目から25例目までが医療センターに係る発生の状況、27番目は外国から日本に帰ってきて発症したということで、フィリピンから帰ってきて発症した事例です。29番目はカフェから出たということで、これは単発で今のところ出ていると考えております。</p> <p>昨日の部分につきましては、東京出張から帰ってきてその関連で出た</p>

	<p>可能性があるということで現在引き続き調査を進めているといった状況になっております。以上が、感染者の発生状況ということになります。</p> <p>次に2点目、大分市保健所に寄せられた相談についてということで、1月20日から相談ダイヤルを設置いたしまして、一般市民の方を含めて相談をさせていただいております。1月には69件、2月はひと月の合計で544件だったものが、3月は合計4207件ということで、毎日200件程度普通でも電話がかかってくるということで、一番多いときで400件を超えてお問い合わせをいただいている状況になっております。</p> <p>4月1日、この件についてちょうど事例が発表された後だったというのもあって、304件ほど問い合わせがありまして、ここには記載していませんが、昨日も200件近く問い合わせをいただいているということでもあります。基本的に主な相談内容については、そこに記載してありますように、病院受診に関することや、PCR検査、さらにはトイレトペーパーやマスクの不足、マスクでも取り上げているような課題、あと、会社の対応に関することや施設を利用したことによる感染がないか、どう対応すればいいのか、そういったことについてお問い合わせをいただいている状況となっているところであります。以上でございます。</p>
市長	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>それでは、次に市立小中学校の臨時休業中の対応についてお願いします。</p>
体育保健課長	<p>はい、次に市立小中学校の臨時休業中の対応について説明させていただきます。</p> <p>本市では新型コロナウイルスの感染防止を図り、子どもたちの健康・安全を確保する上から、3月3日火曜から当分の間、小中学校等において臨時休業実施をいたしました。その間の対応としまして(1)の1点目を体育保健課から報告いたします。</p> <p>健康観察カードの活用についてですが、臨時休業期間中には、児童・生徒は健康観察カードを用い、毎日体温や体調を記録し、発熱等の症状があった場合は、健康状態について家庭から学校へ連絡するというようにしております。その内容を学校は教育委員会へ報告することとしております。報告内容は、資料はお配りしていませんが、3月3日から4月2日までの間に97人の報告があり、そのうち医療機関を受診した児童・生徒は55名で現在のところ、報告を受けた児童・生徒は、回復するなど心配するような状況ではありません。体育保健課からは以上でございます。</p>

<p>学校教育課長</p>	<p>続けて学校教育課からご説明いたします。</p> <p>臨時休業期間中、各学校では、学級担任が定期的な家庭訪問や電話連絡により、家庭での児童生徒の状況把握に努めてきたところでございます。また、この期間の学校行事についてでございますが、小中学校の卒業式については、参加者を限定し、内容を簡略化するなど時間短縮に努めた上で実施をいたしました。なお、小学校につきましては、3月24日火曜日に簡略化した内容ではございましたが、保護者の方にもご参加いただき実施することが出来ました。3月10日、11日の県立高等学校等の入学者試験については、混乱なく予定通り行うことができました。3月26日に予定されておりました修了式については、市内の感染状況を踏まえまして、3月20日の時点で3月26日までを臨時休業期間とすることといたしましたので、修了式は実施できませんでした。こうしたことにより各学級担任は、家庭訪問等により児童生徒の通知表を配布し、学習面や生活面における1年間の成長を伝えたとところでございます。</p> <p>最後に臨時休業期間中の子どもの居場所の確保への対応といたしましては、放課後児童クラブから要請のあった学校では、体育館や図書館等の施設を開放するとともに、教職員が当該クラブでの学習指導等を支援するなど、実情に応じ柔軟に対応したところでございます。</p> <p>学校教育課の報告は以上でございます。</p>
<p>子育て支援課長</p>	<p>子育て支援課の横川です。子どもすこやか部所管の資料1-2の2と3につきましては、別紙資料1を用いてご報告いたします。</p> <p>子どもすこやか部における新型コロナウイルス感染症に対する基本方針といたしましては、市立幼稚園・市立保育所、児童育成クラブにおいて新型コロナウイルスに感染した子供が発生した場合、症状の有無に関わらず、当面14日間の臨時休園といたします。職員、同居親族が感染した場合も同様です。また、子どもが濃厚接触者と特定されない限り登園できることとしております。</p> <p>次に、私立の幼児教育・保育施設、民間放課後児童クラブにつきましては、当該施設の設置者に対して、上記1の市立幼稚園等と同様の対応等を要請するとともに、施設で感染者が発生した場合は、感染拡大防止、風評被害防止、個人情報保護の観点から、子どもやその家族のプライバシー配慮を要請することとしており、子どもすこやか部におきましては、こうした対応の統一と徹底を図っております。</p> <p>続きまして、対応経過についてでございますが、2月27日に子どもすこやか部の基本方針を定め、幼児教育・保育施設、放課後児童クラブ等の関係施設の周知いたしました。2月28日には、幼児教育・保育施設や放</p>

<p>障害福祉課長</p>	<p>課後児童クラブが国からの休業要請の対象外となったことから、各施設に対して開園継続の依頼をいたしました。3月3日、大分市で新型コロナウイルス感染症患者が発生いたしましたが、幼児教育・保育施設や放課後児童クラブについては、感染と関係が無かったことから、基本方針に基づき、感染防止の徹底を図りながら、開園を継続いたしました。3月10日からは、感染拡大防止の観点から、子どもルーム11か所と旭町児童館の主催行事を中止いたしました。3月12日には、各施設に調査を実施し、マスクなど感染症対策用の物品の購入の補助申請を行いました。3月19日には、市立幼稚園の卒園式を規模縮小するなどして実施いたしました。私立幼稚園に対しても同様の対応を要請いたしました。3月21日、感染者増加に伴い、児童育成クラブ1施設より、児童の受け入れに関する相談がございましたが、基本方針に基づき児童が濃厚接触者と特定されない限り、受け入れることを説明し承諾を受けております。また、同日より不特定多数が利用される子どもルーム11か所につきましては、施設の利用を休止させていただいております。3月23日には、感染拡大を受け、幼児教育・保育施設と保護者に対して感染が確認された場合の対応を周知いたしました。3月25日には、登園自粛要請が行われた施設に、受け入れ継続の適切な対応をお願いするとともに、各認可保育施設に対し、子どもが濃厚接触者と特定されない限り、登園自粛を要請しないよう、基本方針の再確認と施設職員への周知をお願いいたしました。また、同日に市立保育所卒園式を規模縮小するなどして実施いたしました。私立保育所に対しても同様の対応を要請いたしております。3月26日には、児童育成クラブを利用する子どもを持つ医療従事者が、クラブの児童支援員から利用自粛を要請されたことが判明いたしましたので、直ちに、クラブに対して基本方針の説明を行い、受け入れ継続を確認いたしました。3月27日、幼児教育・保育施設、放課後児童クラブ等に基本方針に基づき濃厚接触者と特定されない限り、登園できる旨の周知を再度行いました。4月2日、入手が困難となっておりますマスクとアルコール消毒液につきまして、調達できましたことから、順次配布しており本日全放課後児童クラブへお届けできたところでございます。</p> <p>最後に、本日4月3日午前中に市立保育所入園式を規模縮小するなどにより実施いたしました。4月14日火曜日に実施する市立幼稚園の入園式につきましても規模縮小などにより実施する予定としております、子どもすこやか部の報告は以上でございます。</p> <p>障害福祉課の永田でございます。資料4点目、障がい児等が通所する放課後等デイサービスの現状についてご報告いたします。</p>
---------------	--

<p>企画課長</p>	<p>(1)3月3日以降午前中からの開所を要請しており、放課後等デイサービス70施設において障がいのある児童等の受入をしていただいているところでございます。</p> <p>(2)各事業所に対しまして除菌水を3月31日から、また、利用児用のマスク、1人当たり2枚、合計4千枚を4月2日から順次配布しているところでございます。</p> <p>以上でございます。</p> <p>企画課の小野でございます。5点目の市有施設の休館状況についてご報告いたします。本日資料として配布しております「別紙2 市有施設の一時的休館等の状況一覧表」も併せてご覧ください。</p> <p>市有施設の内、屋内施設につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、別紙2に記載しております施設について、3月21日土曜日から当面の間の4月末までは、施設の全部若しくは一部の利用を停止しております。ただし、既に使用許可を得ている利用者で、特段の事情がある場合は個別に相談に応じております。</p> <p>屋外施設につきましては、個人利用は可能としております。</p> <p>市有施設の休館状況についての報告は以上でございます。</p>
<p>スポーツ振興課長</p>	<p>スポーツ振興課の三好でございます。資料6点目のスポーツ少年団の現状についてご報告いたします。</p> <p>スポーツ少年団の活動は、市立中学校等の部活動等と合わせ、現在活動の自粛を要請しているところでございます。活動場所は当分の間、従来の活動場所を想定しておりますが、その他の注意事項につきましては、部活動等と同様といたしております。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>学校教育課から文部科学省や県の考え方について説明いたします。資料は別紙3-1から3-3をご覧ください。</p> <p>文部科学省は3月24日に小中学校等における教育活動の再開について、そして4月1日にこの通知の一部改訂版として、感染症に対応した臨時休業</p> <p>実施に関するガイドラインの改訂について発出いたしました。また、同日に大分県教育委員会から新型コロナウイルス感染症に係る始業式等の対応についての文書を発出しているところでございます。内容が大変多くございますので要点を簡潔にご説明いたします。</p> <p>文部科学省はこれら通知の中で、学校再開のためのガイドラインとして、まず手洗いや咳エチケットを徹底し、集団感染のリスクを避けるた</p>



	<p>め、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 密閉空間にしないよう換気を徹底すること</li> <li>2. 密集を避けるための配慮をすること</li> <li>3. 近距離での会話や大声での発生をできるだけ控えること</li> </ol> <p>が重要であるとしています。</p> <p>また、臨時休業の実施に係る考え方として、衛生主管部局と十分に相談の上、臨時休業の実施の有無、規模、期間について判断すること。その際、感染の事実や感染者の人数のみで臨時休業を判断するのではなく、学校内に既に感染が拡大している可能性や今後拡大する可能性について、個別の事情を見ながら臨時休業すべきか否かの判断をすること。感染者が学校内でどのような活動を行っていたか確認するとともに、地域において感染者が出ていない場合や、地域における感染経路が全て把握していて、学校関係者とは接点が少ない場合などには、学校の臨時休業を実施する必要性は低いとしており、さらに学校外で感染したことが明らかであって、他の児童生徒等に感染を広めているおそれが低い場合には、学校の臨時休業を実施する必要性は低いと示しております。</p> <p>また大分県教育委員会では、新学期の始業式や入学式の対応について、4月1日時点で県立学校の再開の有無は示していないものの、始業式については、校長の式辞は校内放送で行うなど、密集する時間をできるだけ作らないよう工夫すること。体育館で実施する場合には、換気を行い、学年ごとに午前・午後に時間帯をずらすなどの検討を行うこと。入学式については、短時間で実施し、来賓の方々の出席は控えていただき、参加者を最小限とすることなどの留意点を示しているところでございます。</p> <p>以上でございます。</p> <p>ありがとうございました。内容が大変多岐にわたっておりまして、説明が簡潔なものとなり大変恐縮でございます。以上の報告事項や澤口先生のご発言を含めましてご意見やご質問等ございましたらお願いいたします。</p> <p>(意見無し)</p> <p>よろしいでしょうか。よろしければ次の協議事項までご説明させていただいた後、まとめてご意見を賜りたいと思います。</p> <p>つづきまして、協議事項に入ります。1点目の市立小中学校の再開についてでございます。こちらにつきましては、はじめに三浦教育長から説明</p>
市長	
市長	
市長	

<p>教育長</p>	<p>をお願いいたします。</p> <p>現時点での教育長としての考えを申し上げます。</p> <p>各小中学校では3月3日から臨時休業措置をとっており、健康観察カードを活用して全ての児童生徒の健康観察を毎日実施しております。本日まで風邪症状等による発熱の相談が97件ございましたけれども、その後回復しており、心配なる状況はございません。</p> <p>本日が臨時休業となりちょうど1か月が経過したことになります。保護者からは「学校が始まらないと生活ペースが乱れて困る。」や「学力の低下が心配。」などの声とともに、「子どもが体を動かすことができずストレスを感じているようだ。」という声も聞いております。しかしその一方で、「子どもには基礎疾患があり今の時点で学校が再開されれば心配。」などの声も届いているのも事実でございます。</p> <p>しかしながら、学校は3月の3学期終了以降は休業となっており、併せてこの時期が教職員の異動時期となっていることから、現在担任が不在の状況となっております。4月からの始業式が正式な新年度の始まりとなるわけございまして、子ども達は進級後、自分達は何組になり、クラスメートには誰が居て、誰が学級担任なのかという情報を求めていますので、早く知らせることで安心させることが何より大切であると思っております。始業式、入学式を終えれば、異常等があった場合に担任からの連絡も可能となります。</p> <p>また、4月1日に開催された政府の専門家会議では、感染者がいても感染経路が判明し、学校関係者と接触が少ない場合には、休業の必要性は低いと示されております。</p> <p>以上のことから、当初の予定通り4月8日水曜日に小中学校等の始業式を実施し、感染症対策をしっかりと行った上で、前の学年の未履修の学習内容の確実な補習など、子ども達へ学びの保障をしっかりと行うために学校を再開したいと考えております。</p> <p>ちなみに全国各地では、感染状況により対応が異なるようでございますけれども、県下の他市町村も4月8日からの始業に向けて同様の対応を考えているようであります。</p> <p>なお、学校の感染症対策につきましては、この後担当課長より説明を行います。また、4月10日金曜日の中学校入学式、13日月曜日の小学校入学式は、卒業式と同程度に簡略化して短時間で行う予定です。また、保護者にも出席は最小限をお願いをしたいと考えております。</p> <p>次に学校再開した場合の学校行事についてでございますが、5月に予定されております修学旅行は、時期を秋に移動する。これにつきましてはは</p>
------------	---

	<p>39校該当校がございましたが、全て時期の移動で検討しております。また、先ほど澤口先生からご指摘がありました運動会を5月に予定している学校もございまして、これは実施するか否かの検討も含め、実施する場合には、秋への移動を検討することといたしております。</p> <p>その他、定期健康診断については、学校医の皆様との協議を行い、宿泊学習などについては、学校の状況に応じ時期をずらしての実施を考えております。</p> <p>なお、中学校の部活動は、当面4月中は運動部・文化部全て中止したいと考えております。</p> <p>また、学校再開した場合、先ほど申しあげました基礎疾患のある子どもや医療的ケアを必要とする子どもに対しては、主治医と相談するなどをして、校長が判断をして、出席しなくてもよい日とすることができますので、その際、学習の補充等に配慮をして個別のケースに対応していきたいと考えております。</p> <p>以上でございますが、もし今後、児童生徒を含め学校関係者に集団感染が発生した場合には、その時点で判断し、再び一定期間臨時休業措置をとることもありうると考えております。</p> <p>以上でございます。</p> <p>市長 ありがとうございます。事務局から補足説明をお願いします。</p> <p>体育保健課長 体育保健課の清水でございます。</p> <p>私からは資料の1「市立小中学校等における感染症対策について」ご説明いたします。文部科学省の新型コロナウイルス感染症に対応した学校再開ガイドラインに基づき、日常において3つの条件、換気の悪い密閉空間、多くの人が密集、近距離での会話や発声と同時に重なる場を徹底的に避けた教育活動を行うことを基本とし、各学校において万全の感染症対策を講じてまいります。具体的な対応策についてご説明いたします。資料にあります1点目が、登校前に検温し、体温とその日の体調を記録する健康観察カードを使用した健康観察を継続し、児童生徒の健康状態を確実に把握します。教職員も同様とします。2点目が、登校後、昇降口等で教室に入る前に手指消毒又は手洗いを行います。3点目が、給食の前や体育の授業の後、トイレを使用した後など、こまめな手洗いを徹底いたします。4点目が、1時間に1回以上、教室等の換気を徹底します。5点目が、できるだけ座席の間をあけるなど、児童・生徒同士の距離を離すよう配慮します。6点目が、近距離の会話や発声等をできるだけ避けるため、授業においてグループや少人数による話し合い、教え合いなどの活動は控え</p>
--	--

	<p>ます。7点目が、咳エチケットを徹底し、できるだけマスクの着用を勧めます。8点目が多くの児童生徒や教職員が手を触れる箇所について1日1回以上の消毒を行います。9点目が、基礎疾患のある児童生徒については、保護者や主治医等と連携を密にし、学校生活における配慮を確認し、個に応じた適切な対応をいたしたいと考えております。これらの対応を各学校において適切に実施し、感染症対策に万全を期してまいりたいと考えております。</p> <p>また、資料はございませんが、中学校の部活動については、教育長より当面4月中は中止する考えが示されました。5月以降の活動については状況を見ながら検討してまいりたいと考えております。</p>
市長	<p>続けて、スポーツ少年団についてお願いします。</p>
スポーツ振興課長	<p>スポーツ振興課の三好です。</p> <p>今、中学校の部活動について4月中は中止という考え方が示されております。スポーツ少年団につきましても、小学校の体育館やグラウンドを使うケースが多くあります。密集する場合もございます。中学校の部活動と同様に4月中は中止を要請してまいりたいと考えております。</p>
市長	<p>ありがとうございました。ご審議いただきます前に、私のほうからも説明させていただきたいと思っております。先程、教育長からも県内各市町村の状況について説明がありましたが、九州で言いますと、福岡市は臨時休業を17日まで延ばすと、また、熊本市はゴールデンウィーク明けまで延ばすとなっております。そこと大分市の対応が、ある意味で異なるわけですが、どういうふうな考え方で整理できるかをまとめてみました。この資料は福岡市と熊本市に了解をとって作成したのではなく、私どもがホームページ等で公開されている情報を踏まえて作成したものです。それぞれの感染者数を見ますと、福岡市が40名、熊本市が13名、大分市が25名と、大分市は熊本市の2倍程度と多いわけですが、そのとなりにありますように感染源がわからない感染者の数が福岡市20名、熊本市3名、大分市が1名と、この1名はカフェの方をカウントしていますが、感染者がわからない割合が大分市は非常に低い。また、この1週間の感染者の数ですけれども、福岡市が34名、熊本市は7名、大分市は3名ということで、福岡と熊本はこの1週間増えていますが、大分市は先程澤口先生からお話がありましたように比較的持ちこたえている、落ち着いているという状況がございます。このような状況の中で下に分類があります。感染拡大警戒地域、感染確認地域、そして感染未確認地域で</p>

	<p>ございまして、この3つの分類に応じて、先程の文部科学省のガイドラインによりまして、①に当たるところについては、地域内の学校の一斉臨時休業も選択肢として検討すべきであるとされております。福岡市と熊本市はホームページ等を見ますと、それぞれの市につきましては、この感染が拡大する警戒地域に当たると評価をしております。大分市につきましては、この2つの指標をもとに考えますと、もちろん警戒しないといけませんが、②の感染が確認されている地域ということで、直近一週間の新規の感染者数、あるいはリンクなしの感染者数が、一週間前と比較しまして一定程度の増加幅に収まっております。また、帰国者・接触者外来の受診者数についてもあまり増加していない地域と考えてもいいのではなかろうかと整理しました。そのようなことから、福岡市、熊本市と対応が違いますけれども、先程教育長が説明しましたような考え方で再開するということが適切ではないかという判断に至った次第でございます。</p> <p>説明は以上でございまして、これから教育委員の皆様にご審議いただきたいと思っております。どなたからでも結構ですが、説明が端折った説明になっておりまして恐縮でございますが、お気づきの点などございましたらご発言いただければと思っております。</p>
<p>生野委員</p>	<p>今、教育長からお話を聞きまして、その中で子どもたちの学びの保障ということもあり、非常に大事なことで、学校再開という判断もありうる判断かと思っております。ただし、先程澤口先生からお話がありましたように、正しく恐れるということは非常に重要で、そのための対策は子どもの学びの保障と同様に感染症の対策を十分していく必要があるのではないかと思います。</p> <p>その中で1点教えていただきたいのが、資料2の「市立小中学校等における感染症対策について」というところで対策が書かれています。この中には授業中の話がメインで書かれています。子どもたちの休み時間や登下校の時間に、おそらくいわゆる濃厚接触というか、子どもたちが触れ合って遊ぶことが多いと思います。このような時に、どういう指導、どういう話をしていくのか、特にグラウンドに出ることを自粛するようなことを求めていくのか、子どもたちが触れ合うことを少なくしていくのか、そのあたりのお考えや対策があれば教えていただきたいと思っております。</p>
<p>市長</p>	<p>生野委員ありがとうございました。それでは、学校教育課長よろしいですか。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>学校では、マスクの着用や手洗い、そしてうがい等のさまざまな感染防</p>

<p>市長</p>	<p>止に努めてまいります。ご指摘のように文科省からも3密について徹底するように指導をいただいております。例えば、昼休みに図書館や教室で過ごす上でも、換気を十分にとったり、あるいは子どもたちの緊密な接触を避けたりということは、その都度、学校が再開されたのちに、低学年の子どもたちには低学年の子どもたちにわかりやすい言葉で、それぞれの学年に応じて子どもたちに指導してまいりたいと思っております。</p> <p>ありがとうございました。ほかにございませんでしょうか。</p>
<p>岡野委員</p>	<p>ご説明を聞きまして、特に澤口先生からの管理と対処についての説明が非常にわかりやすかったですし、そういったことが、健康観察カード等を活用していることで非常によくできているなど少し安心したところです。ただし、感染経路がわからないことが特に問題になっていて、都市部では感染者が急激に増えているということで、学校内での対策についての説明は理解したのですが、例えば、保護者や家庭に対する周知については、どのように行うのかというところを少しお聞かせください。</p>
<p>保健予防課長</p>	<p>一般市民に対する周知ということになってくるとは思いますが、基本的には手洗いや、咳エチケットを守っていただくということが、まずは基本になろうかと思えます。そのうえで、症状が出た場合は、最初に病院のほうに連絡して受診していただくことが第一歩だと思っております。大分県の場合、他県のやり方と違っておまして、他県の場合は4日以上熱が続いた場合に病院に行ってくださいという流れですが、大分県の場合は、まず、かかりつけ医に連絡して受診していただくということで、コロナウイルスだけでなく、その他の病気の部分でもしっかりと病院にかかれる体制を整えておりますので、そういったところを徹底していただく、さらに症状があれば外出を控えていただくといったところを徹底していただく中で感染拡大を予防していく、そういった対応をしていく必要があるかと思えますし、今後も周知徹底に努めてまいりたいと考えております。</p>
<p>市長</p>	<p>ちょっと補足しますと、感染拡大に係る情報はできるだけ開示したいと思っておりますが、その一方でプライバシーの問題もあります。そこに配慮しながら、もちろん会見も大分市と大分県の共同記者会見で毎回行っておりますし、また、ホームページでも開示をしております。さらにSNSを使って、情報をできるだけ多くの市民の皆様が発信をしているところでもあります。マスコミの皆さんにご協力いただきながら、市民の皆様</p>

	<p>は日々変わる情報に注意していただいて、対応していただきたいと思えます。さらに今保健予防課長が説明しました通り、病院を受診するとき、注意していただければ院内感染が起これなくて済むのですが、発熱している方がいきなり受診して、医者に感染して広がってしまうということも考えられます。そうした点についても発信しておりますので市民の皆様にはご注意くださいと考えています。</p> <p>それから発熱外来の在り方等については、医師会と大分市で相談させていただいておりますので、このような取組を併せて進めていきたいと考えております。</p> <p>他にございますか。</p>
古城（和）委員	<p>先ほど教育長から、「集団感染が生じた場合は」と話がありましたが、これは「集団感染の場合に」ということではなく、一人の児童生徒や幼児に出た場合とも考えてよろしいのでしょうか。</p>
教育長	<p>一人の場合は個別の対応フローを考えておりまして、あくまで複数や集団で発生したという想定での発言でございます。</p>
市長	<p>澤口先生もそのあたりをご心配していただいております。クラスの中で一人陽性が出たというときは、クラスの全員が基本的には濃厚接触者と同じような扱いをせざるを得ないと思います。その場合は、それぞれのかかりつけ医ではなくて、例えば大分市保健所がまとめて PCR 検査をするという形で、集団感染の前の段階ではありますが、そこからそれぞれの地域とか医者に広がっていくということがないような対応を取ろうということで準備をしているところでございます。</p>
古城（和）委員	<p>もう 1 点よろしいでしょうか。学校を再開するということになると、これまでとは違った対応、個に応じた対応ということも含めまして、先生にはより細分化された行動指針というものが必要なのではないかと思います。そうした準備もお願いしたいと思えます。</p>
教育長	<p>全学年の未履修の分の学習状況を補充するというのは非常に大事なことで認識しています。この休業期間中にすべての小中学校の各学年の未履修時間をすべてチェックし一覧表にまとめました。どこの学校の何年の何の教科が何時間足りないのかというのを全部算出して、それを補充すべく学習プリントを作成します。例えば、小学校 6 年であれば学習するのは中学校 1 年になりますので、その小学校の教諭が未履修の学習</p>

	<p>を補充するため学習プリントを作成し、中学校にそれを渡すという連携を取っています。個別の対応というのはまさにこういうことだと考えております。</p>
市長	<p>健康管理の個別対応のマニュアルのようなものは、どういう状況になっていますか。</p>
体育保健課長	<p>体育保健課でございます。一斉休業する時点で各学校に健康観察カードの提供の仕方を渡しており、学校から各家庭の方に通知されているところであり、引き続き行っていく形になっております。</p>
上杉委員	<p>3学期が3月上旬で休業に入った状況になっておりますが、新年度に向けて0学期と言われている学期がありまして、子どもが落ち着いていない状況が見受けられます。不登校や不登校傾向が見られるお子さんへの手当てやケアの対策はどのように考えておられますのでしょうか。</p>
学校教育課長	<p>ご指摘のとおり、まず学校が再開されましたら、子どもたちがどういう状況であるかということ、担任を中心に、学校全体が把握する必要があると思っております。その中で学校に登校した際の子どもたちの表情や言葉、あるいは面談をする中で、どういった心の状況であるかということ、把握する必要があると考えております。状況によっては保護者の方とも連携し、ご家庭の様子を把握して指導してまいりたいと考えております。</p>
市長	<p>それでは古城委員いかがでしょうか。</p>
古城（一）委員	<p>保護者の方の体温を含め、健康状態の確認はされるのでしょうか。</p>
市長	<p>通常は、保護者の方が陽性になったとき、お子さんがいるかどうかということ、まず確認して、お子さんがいるときは濃厚接触者になりますので、PCR検査を行うという状況です。したがって、お子さんが最初に陽性が出たということであれば、当然保護者の方が濃厚接触者になってPCR検査をするという流れになると思います。今までは、大人が感染しておりますので、まず子どもがいるかどうか調べて、何人かいるということであればPCR検査をしています。今本市で子どもが陽性になったことはないのですが、陽性になったときは、その学校や学級を閉じていく、そうした流れになると思います。</p>



<p>澤口先生</p>	<p>他に何かございませんか。澤口先生よろしいですか。</p> <p>私の本業は小児科医なのですが、3月の初めから子どもたちが外に出なくなっていて、患者が激減しています。大分市小児夜間急患センターも患者が減りました。逆に言えば、今の対策が非常に効果的であったと考えています。しかし保育園は閉園していません。普通に保育園は開いていても感染を起こしていません。ということは、大分市民・大分県民は非常に真面目に3密を守っている。これは県民の資質なのかもしれませんが、非常にすぐれた資質だと思います。本当に今小児科の患者が少ないです。一つ心配しているのは中学生と高校生です。中学生や高校生を悪いと言っているわけではなくて、心配なのは先ほどお話のあった部活です。風疹の流行の発端になったのは高校生であったなど、校外の交流はどうしても避けられないものであります。あとは、部活の練習の中で不特定多数の人と関わるといった部分で感染が入ってくる恐れがあります。愛媛では葬儀の中でクラスターが起こったりしました。そういうことからすると、どういった状況が問題かということをお皆さんでしっかり勉強してもらって対応してもらいたいというのが1点。あと、今回の件で介入していただいた大分大学の感染制御部の平松先生、微生物学の西園先生が今回のクラスターなどに関わっていただきました。できれば、こうした先生方をお呼びして、教員などの関係者に向けて一度勉強会をしていただけたらかなり理解が深まるのではないかと思いますので、ご検討ください。</p>
<p>市長</p>	<p>澤口先生ありがとうございました。保育園のほかに、児童育成クラブも運営されておりますが、感染は起こっていないという意味では先生のご指摘のとおり、うまく運営されているということかなと思っております。それから高校の話は、教育委員会から、県教委に今の先生の話をご伝えているので、対応をお願いしたいと思います。中学校以下は、部活は中止ということでございます。勉強会についても併せて検討していただければと思います。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>ありがとうございました。様々な角度からご提言いただきました。そして本件は日々状況が大きく変わってまいります。8日が再開日ではありますが、今日がまだ3日でございますので、これ以降大きく状況が変わる場合には適宜対応していかないといけないと思いますので、8日までの対応については、ご一任いただくということではよろしいでしょうか。またその都度ご報告をさせていただきたいと思っております。</p> <p>それでは、本会議の議論を踏まえ、教育委員会におかれましては、8日</p>

<p>教育長</p>	<p>の学校再開に向けての諸準備を速やかに進めていただきますようお願いいたします。</p> <p>貴重なご提言ありがとうございました。昨日テレビのニュースを見ておりましたら、入院患者の女性の方が「皆さんこの病気を甘く見てはいけません」というコメントを発信しておりました。非常に印象的でありました。オリンピック・パラリンピックが延期になるなど決して予断を許さない状況だと思っております。感染拡大防止のための全校臨時休業措置でありましたが、1か月が経過し、学習面だけでなく保護者の経済面においても大きな影響が出ているものと感じております。このことから学校は、子どもたちが学習するところではありますが、社会のセーフティーネットとしての機能も求められているのではないかと感じております。本日の会議では、たくさんのご意見・ご提言をいただきました。ただ今、市長からの要請もありましたので、このあと教育委員会で今後の方針を決定してまいりたいと考えております。ありがとうございました。</p>
<p>市長</p>	<p>ありがとうございました。次に2点目に行きたいと思います。市有施設についてでございます。事務局から説明をお願いします。</p>
<p>企画課長</p>	<p>企画課の小野でございます。市有施設につきましては、先ほどご報告させていただきましたとおり、別紙2のとおり、屋内の施設につきましては、3月21日から4月末まで、施設の全部、もしくは一部を利用停止しております。今後につきましては、国・県の動向や今後の本市における感染者の発生状況などを踏まえ、5月以降の対応につきまして4月中旬頃に判断し公表してまいりたいと考えております。市有施設につきましては以上でございます。</p>
<p>市長</p>	<p>ありがとうございました。高崎山も今のところ10日まで休園となっております。今後どうするかということは今後検討していくということがあります。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは最後に「その他」についてですが、事務局からございますか。</p>
<p>企画課長</p>	<p>企画課の小野でございます。今後の大分市総合教育会議の開催予定についてですが、定例会の会議を5月15日金曜日に開催する予定となっております。ただし、今後の感染者の発生状況によっては、臨時の大分市総合教育会議を開催する可能性もありますのであらかじめご了承ください。以上でございます。</p>

<p>市長</p>	<p>ありがとうございました。それでは最後に教育委員の皆様から何かございますか。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、本日の総合教育会議はここまでとさせていただきます。なお、本日の協議における決定事項のうち、大分市新型コロナウイルス感染症対策本部会議に係る事項については、本部会議での決定事項とさせていただきます。</p> <p>誠にありがとうございました。</p> <p>それでは、事務局にお返しします。</p>
<p>企画部長</p>	<p>委員の皆様、澤口先生ありがとうございました。以上をもちまして、会議を終了いたします。</p> <p>皆様、本日は誠にありがとうございました。</p>